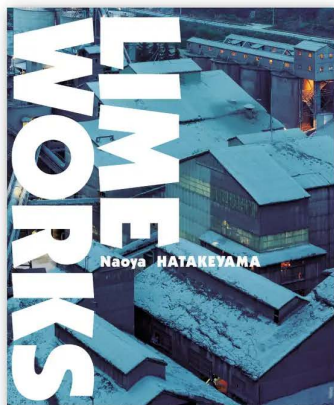


平素より大変お世話になっております。

このたび小社では、標記の書籍を刊行する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

青幻舎創立30周年記念スペシャル企画！ 読者リクエストをもとに復刊が決定した3タイトルを発表！



写真家の写真集やアーティストの作品集など、ビジュアルブックをメインに出版しているアート系の出版社、株式会社青幻舎は、創立30周年を記念して実施した復刊プロジェクトにおいて、読者のリクエストをもとに選ばれた3タイトルの復刊を決定しました。

青幻舎は1995年の創業以来、アート、写真、絵画、デザインなど、ビジュアル書をメインに、文学や評論といったジャンルにも出版分野を広げ、今では刊行タイトルが1000冊を超えるに至ります。

しかしながら、現在は品切れの状態にある書籍も少なくなく、様々な事情によって増刷したくてもなかなかできないという現実があり、読者の皆様のご要望にお応えできないことしばしばといった状況がありました。

2025年10月、青幻舎は創立30周年を迎える運びとなりました。

このタイミングに、創立30周年を記念したスペシャル企画として、読者の皆様からリクエストを募って、今では手に入らなくなってしまった(=幻になってしまった)「幻本」を復刊しようというプロジェクトが立ち上がりました。

2024年秋に読者からのリクエスト募集を開始し、2025年1月末までの間に多数のご応募をいただくことができました。

その後、リクエストの集計に基づき、復刊を望む声の多かった上位タイトルを対象に、復刊に向けて各所調整を行いました。

実際に調査を進めてみると、対象となるタイトルは刊行から時間が経っているものも多く、権利面で難しいもの、印刷会社での保管期間が過ぎて、印刷データがなくなってしまったもの、当時と現在で印刷方法が違うものなど、タイトルごとに様々なハードルがあることが判明し、結果、復刊を断念せざるを得ないケースがいくつかありました。

そういった困難を乗り越え、3タイトルの復刊が実現することとなりました。

その3タイトルは決定順に以下の通りです。

■復刊タイトル

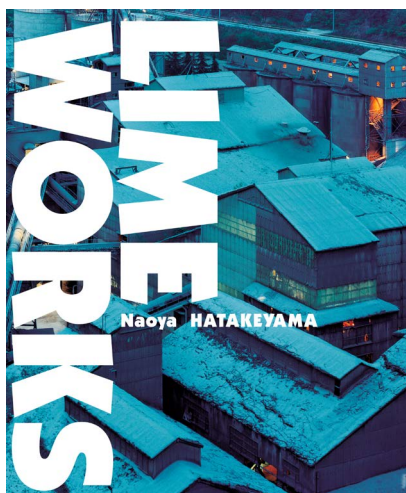
- ・島山直哉『LIME WORKS』(2008年刊)
- ・細江英公『写真家 細江英公の世界 球体写真二元論』(2006年刊)
- ・佐内正史『生きていく』(1997年刊)

読者の皆様の熱いリクエストにより実現したこのプロジェクトは、青幻舎にとっても原点を見つめ直す大切な時間となりました。長らく「幻」となっていた書籍にもう一度触れられる特別な機会を楽しんでいただけたら幸いです。

本件への取材などご要望がございましたら、下記の連絡先までご一報下さい。何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社青幻舎 東京支社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-3-6F TEL 03-6262-3420 / FAX 03-6262-3423 担当:太田 oota@seigensha.com

■書籍紹介



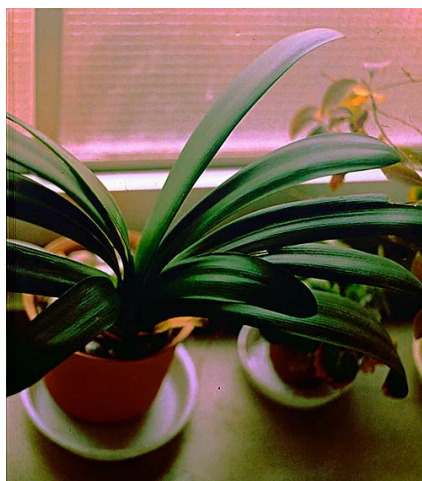
■畠山直哉『LIME WORKS』

1996年に初版発行された、木村伊兵衛写真賞受賞作であり畠山直哉の原点。
2008年に3社目の版元として青幻舎から刊行し、約30年語り続けてきた名作。



■細江英公『写真家 細江英公の世界 球体写真二元論』

2006年に東京都写真美術館で開催された展覧会に合わせて刊行された、図録を兼ねた書籍。細江英公が杉浦康平、田中一光、横尾忠則など錚々たる顔ぶれのデザイナーと制作を共にした写真集を、総覧することができる一冊。



■佐内正史『生きている』

1997年に刊行した、青幻舎が本格的に現代作家の写真集に取り組んだ最初の一冊であり、現在まで続く写真集の系譜の原点となる記念碑的写真集。

■創立30周年記念特設サイト

<https://www.seigensha.com/feature/30th/>

■「幻本」復刊プロジェクトページ

https://www.seigensha.com/feature/30th_006/